



建物外観 (撮影：奥村組)

建築概要

建設地：奈良県奈良市春日野町4番地
建築主：株式会社奥村組
設計：株式会社奥村組 西日本支社 建築設計部
施工：株式会社奥村組
竣工：2007年4月
建築面積：395.33㎡ 延床面積：549.90㎡
階数：地上2階
構造種別：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）

選評

表彰委員会の審議のなかで、「一般に対する免震技術の啓発・普及に多大の貢献をしている点を評価したい」との声が多数の委員から上がり、この点を特に評価した当該の賞を贈ることが決定された。

建物は、奥村組ゆかりの地、奈良に創業100周年を記念して建設されたものである。企画段階から、建物全体を同社の売りである免震技術の展示ケースにしたいという狙いがあった。奈良公園内に位置するため、免震構造を採用して、街並みと調和する繊細な上部構造を実現している。地下免震ピットが外から見学でき、館内には免震体験装置や免震模型が用意されている。

この建物が県の観光案内所の機能を併せ持つという点を差し引いても、オープン後2年で、入館者が22万人にも達したのは驚きである。現地審査中も、若いカップルが免震体験装置に座って、兵庫県南部地震と新潟県中越地震の実震動と免震効果を体験していた。入館者へのアンケートからは、施設が強烈な印象を与え、免震技術の理解に役立っていることがうかがえる。

阪神淡路大震災以降、特に関西地区では地震に対する関心度が高い。そうしたなかで、免震技術の一般への啓発・普及を意図して企画された本建物が、顕著な実績をあげていることは特筆に値するものであり、作品賞（啓発普及功績賞）の受賞となった。

(平島 寛)

免震化した経緯及び企画設計等

奥村組の創業100周年を記念して建設した建物であり、内部には観光案内所と無料休憩スペースを設置している。「春日山歴史的風土特別保存地区」という立地条件を十分に考慮し、街並みとしての一体感に配慮した。特徴は次の3点である。

- ①上部構造を繊細にみせるというデザイン上の効果を狙って免震を採用した。
- ②免震装置の設置状況を通行人からも良く見えるように、設置する内外空間をデザインした。
- ③免震装置模型、免震体験装置を設置し、免震の効果を実体験できるようにした。

免震について、デザイン面での効果、免震装置の実物見学、免震の実体験を備えることで、一般の人に免震を理解いただくことを意図している。

啓発普及活動等

東大寺に程近く奈良公園内という立地も幸いして、開館から2年で来館者が22万人を超えた。来館者へのアンケートでは、日本人・外国人共に、免震体験装置や地下免震ピット及び免震模型への印象が高く、次いでデザインや雰囲気という結果が得られている。記念館には専属のスタッフが常駐しており、来館者の質問に対応しているが、質問の内容が専門的な場合は設計者や施工者が対応し、来館者の免震に対する疑問に的確に答えている。



免震ピット見学スペース



免震ピット見学スペース



免震模型



免震体験装置 (撮影4点共：奥村組)